

1 国際学生寮「さくら」



2017年度 芸術学部美術学科 卒業
 演元 祐佳
 「記憶に溺れる」(油絵)
 (162×112cm)
 2017年度 卒業制作
 卒業制作優秀作品、芸術資料館賞上作品

大学の国際化及びグローバル人材育成施策の一環として、日本人学生と外国人留学生在が共同生活を行う国際学生寮「さくら」を平成30年4月に開寮しました。国籍や文化の異なる寮生が共同生活を行うことで、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成することを目的としています。



多目的室で竣工式を行いました。

寮教育

国際学生寮は、居住機能に加え、教育的な視点も取り入れた学生寮です。人材育成コンセプトに示す人材育成を実現するため、多様な教育プログラムや交流プログラムを実施していきます。

教育プログラム

- [日常生活の中で自主的に身につける「隠れた教育」の実施]
- ・日本人学生と外国人留学生との共同生活
 - ・日常会話における母語以外の語学学習
 - ・国際学生寮生活規則遵守による秩序ある寮内生活
 - ・各種寮内会議による自律的な寮運営
 - ・寮運営・交流プログラム等の企画及び積極的な参加 など

交流プログラム

- [寮生・寮外学生・地域との交流]
- ・歓迎会・送別会
 - ・異文化交流・国際理解
(例：各国の料理パーティー、国別の催し事など)
 - ・日本文化理解
(例：お花見・節分などの季節行事、茶道・書道などの文化体験)
 - ・外国語学習 (例：母語を教え合うピアティーチング) など

※詳しくは大学ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/aboutus/category0007/c00004420/>



私たち学生役職者がサポートします!!



1-1



1階

エントランスロビー

[エントランスロビー] 寮生の交流と憩いの場として、エントランスロビーを設けています。[多目的室] 講演イベント・研修会・会議など幅広い用途で利用できます。間仕切りにより3つに分割可能です。[共用キッチン] 各種イベントや寮生が共同で使えるキッチンです。[管理人室] 管理人は6時から22時まで常駐しています。

1-2



2階

和室

[和室] 書道や茶道等の日本文化体験のほか、さまざまな用途として利用可能です。[短期滞在用ユニット] (2ユニット20人) 海外学術交流協定大学等からの短期受け入れや、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」のほか、在学生の外国語集中特別講義などに活用できます。

1-3



3-6階

長期滞在用ユニット

[長期滞在用ユニット] (16ユニット96人) 日本人学生・外国人留学生計6人で1つのユニットを構成します。(個室部分6室)：ベッド、机などがあります。(共用部分)：キッチン・トイレ、シャワー、洗濯機、冷蔵庫などがあります。[交流スペース] 3～6階の各フロアにあり、各種会議やミーティングなどに使用できます。

2

広島市立大学塾(市大塾)



沖縄研修で訪れた嘉数高台の展望台

「広島市立大学塾」は、広く社会を見つめ、知識を習得し、感性、教養を培い、また体験することを通じて、自ら考え、判断し、行動する力を養い、社会における自らの役割を認識した新しい時代を担うリーダーを育成することを目標として、昨年度から開始した課外教育プログラムです。プログラム期間は10月から9月までの1年間です。春季、夏季には視察体験旅行も予定しています。知的好奇心を持って、学ぶ意欲の旺盛な皆さんの応募をお待ちしています。5月頃から募集を開始しますので、詳しくはウェブをご覧ください。



広島市立大学塾WEBページ

2-1



住宅地の公園と接する露天間基地

塾生 国際学部1年 可知 宗彦さん

私は市大塾の1期生として、このプログラムに参加しました。週1回という少ない時間であるため、他の授業や課題の負担になることもなく、専門家にお越しいただき多方面に渡る分野について貴重な話を聞くことができ、参加してよかったと思います。何より、少人数の塾であるため、グループディスカッションを頻繁に行えるのが良さのひとつです。また課題に対して考察力や自分の意見を持ち、それを人前で話す力などを、自分の意識次第でかなり伸ばすことができるのではないかと考えています。

3

地域を感じ考える「地域課題演習」始まる



COC+地域貢献特定プログラムの「地域課題演習」(全学共通系科目2年次)が昨年度から開講しました。地域を学びのフィールドとした授業で、初年度は60名が尾道市や安芸高田市、山口県上関町など6つの地域に設定されたテーマに取り組み、現地での体験や学びを通して地域の現状や魅力にふれ、キャンパスでは得られない刺激を受けました。学生の地域への関心が高まり、課題に向き合う意識が生まれています。

3-1



3-2



3-3



